演題番号12	排便トラブルに対するケア介入 ～フローチャートを使用した取り組み～
発　表　者	公立みつぎ総合病院　看護師　今井　由子
共同発表者	甲田　千絢，西木　崇浩，掛田　彩，石原　純恵，久米　早苗， 国守　富美恵

老年期は，疾患，生活習慣，環境の変化などにより排便障害やそれに伴う身体症状を引き起こし易い。高齢者の多い当病棟は排便トラブルのある患者へケア介入が遅延している現状があった。そこで，排便状況を客観的に把握するためブリストルスケールの評価を定着させ，排便障害に対して適切にアセスメントできるフローチャートを作成し多職種と連携しケア介入を行った。

プリストルスケール評価は定着し，記録に反映できた。ケア介入を行う中で，食事や内服薬の検討，リハビリ，精神面の援助の必要性に気づき，フローチャートの改善も認識した。今後はフローチャートの改善を行い，排便障害に対し適切にアセスメント，ケア介入できるようにしていきたい。

MEMO